



# 安中だより

【第17号】

令和8年 2月 19日

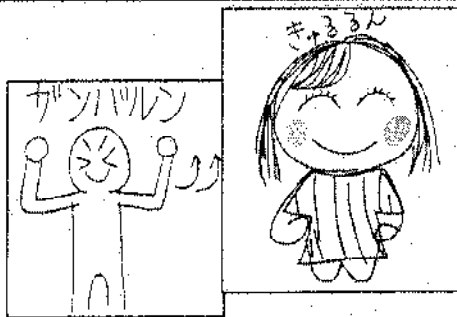
TEL 32-0057 FAX 32-4377

【文責 校長 浦島 容子】

## アガるん!

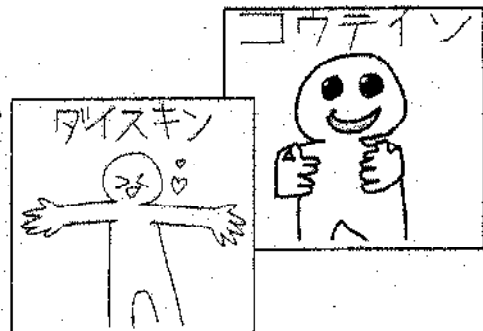
三学期が始まり一ヶ月が経ちました。三年生は受験勉強に真剣に取り組んでいます。力の伸びを感じます。面接の練習では、高校を選択した理由や将来への希望、どんな自分になりたいかを、自分の言葉で話します。将来について「高島市で貢献し、地元を元気にしたい」と言った生徒もいます。

卒業を目前として、しっかりした姿勢で話す3年生の姿に成長を感じます。



毎朝、地域の方が出迎え、手を振り、挨拶を交わし、楽しい会話をし、笑顔が増えています。笑顔は心が上がります。毎月最終火曜日にコミュニティ・スクールの会議をしています。「雪の朝、小学生が通る歩道を、中学生が一人で雪かきをしている姿を見て感動した」という話題がありました。寒いですが、心が温まります。「絵がうまい」「手話ができる」「手先が器用で物づくりが得意」と次々に子どもたちのすごさが話題となります。安中カフェで絵や手話が披露されています。

教育講演会で菊池省三先生が、「褒めることは甘やかすことではない。「褒める」ことで、行動の基準を伝えている。」と話されました。タイミングや言葉に工夫が必要ですが、豊かな心を育む大切なコミュニケーションです。褒められるとうれしいし、心が上がります。もっと頑張ろうという気持ちになります。こんな関わりを大切にしたいと思います。



## 令和の校友会

令和のとなり8年目、時代は移り変わりました。平成は、変化に対応する時代と言われました。令和となり、自ら変化を起こす時代です。

図書委員会が町内の小学校で読み聞かせを始めました。青柳小と本庄小には、読み聞かせ配信を行っています。小学生から「面白い本を読んできたので、自分でも読みたくなった。」と感想が届いています。

校舎内のクリーン作戦、机や椅子のネジをしめる活動など学校に変化が広がっています。変化を起こす令和の校友会です。



## 主体的な学びはいかにして

安曇川町内の3小学校では、8時20分から10分間朝読書をしています。中学校も同様に朝読書の時間を設定しています。一年が経ち、自ら読書に集中し、力をつけた生徒が多くいます。



自ら本を選び、自ら文字を読み、内容をイメージ化するなど、読書は自らが主体的に進める活動です。10分の積み重ねは大きいものです。

また、学校では、落ち着いて一日をスタートすることを大切にしています。「朝の過ごし方は、人生を変える」と言われます。自らの行動で一日のスタートをきることは子どもたちの成長に影響をあたえていきます。

以前、様々な課題のある学校が、朝読書を通して変化したという話があります。初めはうまくいったわけではなく、様々な工夫をしながら、パーフェクトを目指して、生徒も先生も保護者も一体となり、10分間、本と向き合いました。学校は落ち着き、困難を乗り越えました。学力が向上し、スポーツでの活躍が増え、進学校の一つとして注目されるようになりました。本「朝の読書が奇跡を生んだ」で紹介されています。



今、求められる学力は「探求する力」です。主体性です。主体性は「豊かな心」から育まれます。点数で表せない力こそが、「力」につながります。

## 「楽しかったよ！ありがとう」

冬季オリンピックが開催されています。毎朝、日本選手の活躍が伝えられます。真剣なパフォーマンスから感動をもらいます。

選手たちはこの大舞台を目指し、心と体を鍛え、技を磨く日々を重ねてきました。人生をかけて。それでも、メダルに届かず、入賞にも届かないことがあります。インタビューで悔しさが伝わってきます。結果じゃない。

スキージャンプで銀メダルだった選手が、「金メダルでなくてごめん」と悔し涙を流しながら父親に伝えました。「楽しかったよ。ありがとう。」父の言葉です。

どんな言葉がけが次の成長につながるでしょうか。

1、2月スキー県、近畿、全国大会で安中生が頑張りました。目標に向かってチャレンジする姿は尊い姿です。